

# 保育手帳の中から

## 會津保育園

五歳の女兒「先生はなんで袴をはいてくるの姉  
ちやんみたひに帯をめて來たらよかんべーした」

音暫くたちてより其の中の一人の女兒「何んだつ  
てデブちやん(廣い事)の流しだこと」

庭で自由遊び中五歳の男兒突然頓叫な聲で、  
「先生虫よ虫々々ー保姆「そう青虫なの」つてき  
いたら兒「あのネ赤虫よ」近寄つて見ると蚯蚓が  
ニコロ〜

同日七歳の男兒も流場を見乍ら「ベラボウにい  
ゝなア」保姆笑談に「ベラボウつてなあに」兒「と  
てもいゝこと」とニコ〜顔にて元氣よく飛び去  
る。

幼稚園の流し場をコンクリートの巾廣いお流し  
に取替へるに園兒登園して變つたのに皆びつくり  
見る兒〜が「何んだつていゝなア」等と異口同

五歳の女兒下駄箱を行つたり來たり自分の履物  
を探し求める様子。先生「足駄が見えなくなつた  
の」と塗りし足駄を指して「良子ちやんのもこん

なの」つて聞いたら「それでないのあのネ錠が敷いてあるの」先生は解せぬ顔にて考へられる御様子、暫く過ぎて思ひ出されたと見えて「あゝ疊がしいてあるんでせう」上下を探せられると下駄箱の下の方に見えなくなつて上つて居るのを取出されて「これでせう」兒「えゝどうも有難う」と嬉しげにお庭に遊び出る。

× ×

保嬉摺紙を出して摺んで居る時に五歳の女兒「先生折紙がなくなると幼稚園がなくなるの」と心配氣な顔、側できいて居つた七歳の兒微笑し乍ら「なくなると月謝で買つて來るものネ」

× ×

よく晴れ渡つた日全部園外保育に出かける前に道路の左側に整列、一人の保嬉高靴を穿いて居られるのを見て六歳の女兒「アラッ先生はモダンガール」保嬉微笑「あゝらモダンガール」つてなあ

に和子ちゃん」と笑談にたづねるに口に袖を當てゝ恥しげに横を向く。

× ×

天狗の童話をして後、兒「先生天狗の鼻を折られて痛かんべーナア」保姆「えゝ痛い〜と泣いたでせう」兒「あれが居ると薬をつけてほうたいをしてやつたんだけんじよも」

× ×

登園後四五人の男兒園會の側の水の流れる所を物珍しさうに一所を昵つと見つめて居る。保姆何事かと靜かにうしろに行つて見るとげんごろう虫が泳いでる。其の中に女兒も三四人集る。いつ迄たつても好奇心にとらはれて立去らうともしない。暫く見て居つた五歳の男兒虫を指して「これはどつからあしつこをするの」女兒一同「ヤァンダラ」七歳の女兒物知り顔で「タァナア水の中で水を呑むばかりダカラア」

× ×  
歸宅後幼稚園に遊びに来て六歳の女児膽寫版を  
見て「これ鏡がまアぶつくつチャノ」

× ×  
男兒木馬に乗つて競馬遊び中記録係りの男兒  
「孝ちやんの馬は一等三分五分 $\frac{1}{2}$ 」

× ×  
町中を歩き乍ら六歳の女兒「先生此の道を通る  
時は口をべて通つせよ」保姆「どうして」女兒「し  
たつて此の道は肺病だと」

× ×  
六歳の女兒膽寫用インキを見て「これ漆だべエ  
ちらア家にもある」

× ×  
ハサミとカミばかりを出すヂャンケンボンのお  
遊戯中六歳の男兒困つた様な顔をして「先生なん  
でイシを出さなの」

